



玉造黒門越瓜の
マスコット・キャラクター
「玉造稲荷くろもんちゃん」

12年目も展開中! 楽しみながら育て合う、想いが集まり 広がるツルつながりの輪!

今年で12年目を数える「玉造黒門越瓜“ツルつながり”プロジェクト」※は、上町台地がふるさとの玉造黒門越瓜を楽しみながら育て合う活動。最近では上町台地を飛び出して、さまざまな人の手によって各所で育てられています。毎年はじまりは4月の種のお届け、その後の種まきから栽培、収穫、8月初めには手づくり料理を持ち寄っての収穫祭などを通し、地域内外のみなさんと顔の見える関係づくりを目指しています。

※ U-CoRoでは、玉造黒門越瓜の復活に尽力される玉造稲荷神社、玉造黒門越瓜出隊と協働して、2008年からこの活動を展開しています。

玉造黒門越瓜“ツルつながり”プロジェクト

育て合う

種まき

2019年夏
上町台地
玉造黒門越瓜
栽培マップ

<2019参加者のコメントから>

4月中旬
自宅マンションのベランダに大きめの樹脂製プランター、**長期連休中に、種まきまでに土を作らねば**という状況です(^^; Fさん(中央区)

4月中旬
今年も**大切に育てたい**と思います。Oさん(天王寺区)

地域の幼稚園や学校、社寺や商店、施設、そして住民の方々とともにプロジェクトは続けられています。

5月中旬
まいと種が**全部発芽**して嬉しい悲鳴。**植木鉢に植え替えるの**を選ばなくちゃ。高齢者外出介助の会 Nさん(中央区)

間引き 摘心

畑はもちろん園庭・校庭や境内で、店先や軒下で、そしてベランダや屋上で、越瓜は育てられています。

開花 受粉

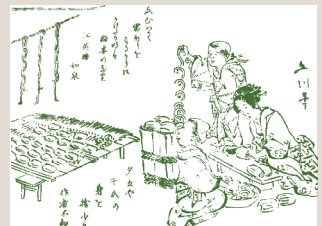
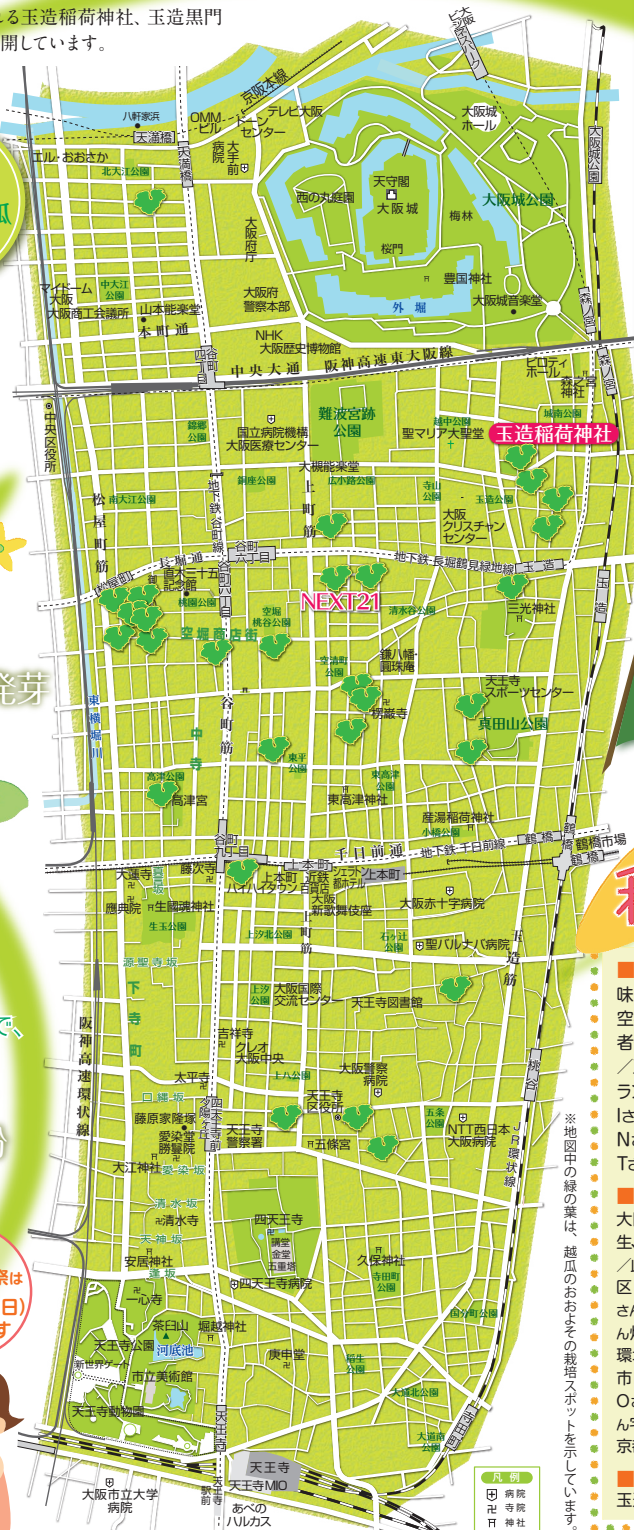
収穫する

料理する

越瓜料理を持ち寄り
収穫祭は今年で12回目!

みんなで食べる

2019
今年の収穫祭は
8月4日(日)
です



江戸時代の干瓜の図(『漬物早指南』より)

「玉造黒門越瓜(たまつくりくろもんしゅうり)」は江戸時代に大阪城の玉造門付近で栽培されていたもの。もともとは古代中国の越国から伝来したため「越瓜」と書き、玉造門が黒門だったことから、通称「くろもん」とも呼ばれました。その粕漬は美味で知られ、大阪名産として全国に名高いものでした。



種を届ける

■上町台地界隈で種をお届けしたところ:
味原幼稚園/鯉節丸与/からほり倶楽部(Wさん)/空掘ことば塾/カンダオプティカル/高津宮/高齢者外出介助の会/真田山幼稚園/サロndeありす/玉造幼稚園/NEXT21/マープル上本町校/レストランRiRe/我趣/Fさん宅/Fさん宅/Hさん宅/Iさん宅/Kさん宅/Kさん宅/Mさん宅/Mさん宅/Nさん宅/Nさん宅/Oさん宅/Sさん宅/Tさん宅/Tさん宅/Yさん宅 ほか (順不同、2019年6月30日現在)

■地図外で種をお届けしたところ:
大阪くらしの今昔館 町家衆有志/大阪市立大学K先生/O先生(ご自宅)/ゲストハウスとカフェと庭 cocoroom/此花子ども食堂(Kさん)/生野区 松野農園/西淀川区Iさん宅/守口市Nさん宅/茨木市Iさん畑/茨木市Mさん畑/茨木市Mさん畑/吹田市Yさん畑/箕面市Kさん畑/大阪狭山市Tさん畑/阪南市Nさん農園/こども環境活動支援協会(LFAF)甲山農地と職員有志/神戸市Mさん宅/宝塚市Nさん宅/川西市Kさん宅/京都市Oさん宅/奈良市Sさん宅/天理市Hさん宅/橿原市Tさん宅/奈良県田原本町Yさん宅/田原本町Tさん宅/東京都Iさん宅 ほか (順不同、2019年6月30日現在)

■共催団体(種苗提供):
玉造稲荷神社/玉造黒門越瓜出隊

※地図中の緑の葉は、越瓜のおおそその栽培スポットを示しています。

5月下旬

庭のしろうりの本葉は、現在では5、6センチ。毎朝、みるのがたのしみです。今朝は、昨日の雨で活き活きとしていました。 Fさん(中央区)



5月上旬

おかげさまで、芽が出ました。子どもが喜んで芽の絵を描きました。



はじめてくん・英菜ちゃん・くろえちゃん ぎょうだいの合作です

芽が出て、何になるかな。どんな花かな。と息子が、毎日楽しみに水やりしています。種から育てる大切さを再認識しました、有難うございます! Tさん(天王寺区)

4月中旬

今年こそ、狭い所ですが、鉢植え、頑張ってみようと思います。 Kさん(中央区)

4月中旬

去年はちょっと失敗。今年がんばって育ててみます。 Oさん(中央区)



4月中旬

たねを植えると鳥がみてるんですね。ぜんぶたべてしまうんですよ。庭担当の人が嘆いていました。なので、べつところで、苗床をつくる必要があるみたいです。 Gさん(天王寺区)



4月中旬

去年はプランターから庭に移植した後の摘花と人工授粉の段取りがうまくいかず、収穫にまで至りませんでした。今年はプランターでの栽培に挑戦したい。 大阪市立大学 O先生(ご自宅)



育て合う

“ツルつなぎ”プロジェクト ご参加の方々から 多くの声をいただきました。

この春、種をお届けした際にみなさまからいただいた、ご感想や期待のコメント、また、種まきから発芽、その後の成長についてのご報告や喜びが伝わるメッセージの中からいくつかをご紹介します。



種まき

発芽

4月中旬

現在、所謂、農業大学の二年生になりました。今年は、家の庭に直播と、学校で袋栽培で、玉造黒門越瓜を育ててみたいと思います。 Yさん(奈良県田原本町)

4月中旬

ほとんどの野菜が苗から育てるようになってるのに種から育てられるというのはさすが「地野菜」です。 Hさん(天理市)

Hさん(天理市)

5月上旬

今年は花壇に直植えるのではなく、鉢に種を蒔くのはじめました。なかなか芽が出ずやきもきしていましたが、3、4日前やっと顔を出し、1、2センチ伸びました。元気のいいのを花壇の去年とは別の場所に植え替えて育てます。 Sさん(奈良市)

Sさん(奈良市)

4月中旬

玉造黒門越瓜の種をありがとうございました！またベランダで育てます！ 大阪市立大学K先生(ご自宅)

4月中旬

去年は芽を出すことすらできなくて挫折してしまいました。今年は知人にアドバイスを仰いで再チャレンジしてみます。 大阪くらしの今昔館 町家衆 Oさん

4月中旬

今年も収穫祭に何うことを楽しみにしています。今年はしっかりと摘芯などもしてみたいと思っています。 此花こども食堂 Kさん

4月中旬

うまくできれば、今年こそカミナリ干しに挑戦してみます。一応宣言とすることで！ Nさん農園(阪南市)

4月中旬

今年こそ大きな瓜が出来るように頑張ります。庭は今草ぼうぼうで連休の前は草抜き、後半畝作り種蒔き、苗植え。 Tさん(檜原市)

4月中旬

今回は、農地を中心に育てる予定です。貴重な種ですので、大切にしていきたい。 こども環境活動支援協会(LFAF) 甲山農地

4月中旬

ぜひ育てたかったので、うまく育てられるかわからないですが、畑に植えたいと思います。 Tさん(大阪狭山市)

Tさん(大阪狭山市)

4月中旬

大阪くらしの今昔館で大学生によるなにわ伝統野菜の紙芝居が出来上がりました。みんな、玉造黒門越瓜のつるつなぎりですね。 大阪くらしの今昔館 町家衆 Kさん

5月下旬

今年はポットに植えたので、6つのポットすべて芽が出てきました。今年こそ大きな実になります。 Tさん(檜原市)

5月下旬

連休明けにポットに種をまき、1週間ほどで芽ができました。双葉になって、移植を待っている状態です。 Iさん(東京)

5月下旬

黒門越瓜、なんとか育ちはじめました。強風で、発芽してすぐのポットが飛んでしまった時は「えらいこっちゃ!」だったので。初夏から夏はウリ科、ナス科の季節です。 Hさん(天理市)

Hさん(天理市)

